

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく 사용하기 위하여,必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム通用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

	警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味 △ ◎ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

	警告・注意を促す内容を示します。(例: 感電注意)
	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例: 分解禁止)
	しなければならない行為を示します。(例: プラグをコンセントから抜く)

	警告
	電源ケーブルは、必ず本製品付属のものを使用してください。 付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。
	本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。 火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
	煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。
	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。
	本体やケーブルの上に物を置かないでください。 故障や火災の原因となることがあります。
	故障した状態(画面に何も表示されないなど)で使用しないでください。 そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。
	ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。
	落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
	本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。 電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常な使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。
・修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
・この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

株式会社 バッファロー
本社 〒457-8520 名古屋市中南区柴田本通四丁目15番

お名前	フリガナ
ご住所	〒 TEL: () -
製品名	FTD-W935HSシリーズ
シリアルNo.	製品本体に記載
保証期間	ご購入日より3年間 ただし、液晶パネル及びバックライトはご購入日より1年間となります。
ご購入日	年 月 日
※販売店様記入欄	ご購入日が確認できる書類(シートなど)を添付の上、修理をご依頼ください。

※以下は弊社内での業務連絡として使用しますのでお客様はご記入なさらないでください。

年 月 日	サ ビ ス 内 容	担 当

切り取り

	注意
	液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。
	小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
	電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。 さわってけがをする恐れがあります。
	静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。 人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

	ゴムやビニール製品を長時間接触させておかないでください。 本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニールが付着してとれなくなることがあります。
--	---

液晶ディスプレイについて

	万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。
--	---

使用するとき

	シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。 液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がけたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。
--	---

	水分はすぐに拭き取ってください。 水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。
--	--

	長時間、連続してディスプレイを見続けしないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。
--	--

	液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。
--	---

	パソコンの電源スイッチがONになったままの状態、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。
--	---

お手入れ

	液晶パネルを乾拭きしないでください。 液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。
--	--

	溶剤を使用しないでください。 液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。
--	--

	お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。 お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。
--	---

	液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。 液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が激打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に戻らない場合があります。
--	---

使用環境

	直射日光、高温・多湿に注意してください。 直射日光が当たる場所や周囲の温度が35℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。本製品表面の変色、液晶パネルの劣化や表面のはげれ、気泡が発生するなどの原因となります。
--	---

	使用条件を守って使ってください。 温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。
--	---

	低温に注意してください。 室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。
--	---

	急激な温度変化に注意してください。 動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。
--	--

	次の場所には設置しないでください。 感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。 ・強い磁界が発生するところ……………故障の原因となります。 ・静電気が発生するところ……………故障の原因となります。 ・振動が発生するところ……………けが、故障、破損の原因となります。 ・不安定なところ……………転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。 ・火気の周辺、または熱気のあるところ……………故障や変形の原因となります。 ・漏電の危険があるところ……………故障や感電の原因となります。
--	---

	禁止
--	-----------

	注意
--	-----------

	注意
--	-----------

	直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。 長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。
--	---

画面の焼き付きを防ぐには

	本製品を長時間使用しない場合は、スクリーンセーバーや省電力機能などを使用するか、こまめに電源をOFFにしてください。 同じ画面を長時間表示させていると、画面表示を切り換えても残像が残る「焼き付き現象」が生じることがあります。
--	--



この画子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



大豆油を原材料として使用した、環境にやさしいインクを使用しています。

はじめにお読みください

2009年9月15日 第2版発行 発行 株式会社バッファロー

BUFFALO 35010761 ver.02 2-01 C10-015

FTD-W935HSシリーズ
マニュアル

はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□液晶ディスプレイ本体……………1 台

□スタンド(支柱)……………1 個

□スタンド(台座)……………1 個

□ミニD-sub15ディスプレイケーブル… 1 本

□DVIディスプレイケーブル…………… 1 本

□ACコード…………… 1 本

□オーディオケーブル(φ3.5mmジャック).. 1 本

☑はじめにお読みください(本紙)…………… 1 枚

※本製品の保証書は本紙に印刷されています。修理の際は必要事項を記入のうえ切り取って、本製品と一緒に送ってください。

※付属のACコードは、本製品専用です。安全のため、本製品以外には使用しないでください。

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 スタンド(支柱・台座)を取り付けよう

本製品は、出荷時にスタンド(支柱・台座)がはずれている状態で梱包されています。ご使用になる前に、本製品にスタンド(支柱・台座)を取り付けてください。

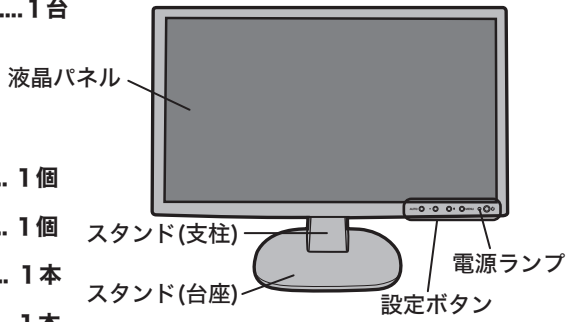
注意

- ・本製品を机の上などの安定した台の上に置いて作業してください。
- ・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

1 液晶ディスプレイ本体に支柱を差し込みます。(カチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込みます。)

2 支柱に台座を取り付けます。(カチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込みます。)

3 以上で支柱・台座の取り付けは完了です。



※イラストは、本体、スタンド(支柱)、スタンド(台座)を組み立てた後の例です。

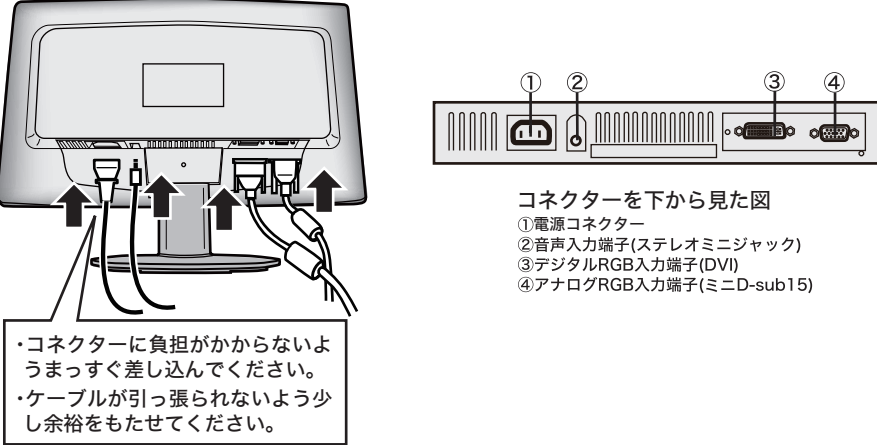


ステップ3 パソコンに取り付けよう

注意

- 作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。
- ACコードやディスプレイケーブル等各ケーブルの取り扱いによって、製品の内部で断線や接触不良が発生し、製品が故障する場合がありますので取り扱いに注意してください。
 - ・各ケーブル類は、本製品の角度調整などの際、引っ張られる場合がありますので、設置には少し余裕をもたせておいてください。
 - ・各ケーブル類を抜き差しする場合は、無理に曲げたり、引っ張ったりせず、製品やコネクタ一部分に負担がかからないようにまっすぐに行ってください。
- 別売のアームスタンド取り付け時には、各ケーブル類を無理に曲げたりなどせず、コネクタ部分に負担がかからないようにしてください。

ケーブル類をディスプレイに取り付けます。



1.付属のオーディオケーブルを本製品とパソコンに接続します。
2.付属のディスプレイケーブル(ミニD-sub15またはDVI)でパソコンと本製品を接続します。
※パソコンのコネクタがミニD-sub15ピン/DVIでないときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※端子の向きを確かめて、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のねじで固定します。
※本製品のOSDメニューでミニD-sub15(アナログ)とDVI(デジタル)の入力信号を切り替えることができます。そのため、パソコンが2台ある場合は、ミニD-sub15とDVI端子にそれぞれのパソコンに接続し、必要に応じて切り替えて使用することができます。

3.付属のACコードを本製品に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

- 電源ONのとき本製品の電源ランプが緑色に点灯します。
次の状態のときは、電源ランプがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。
 - ・パソコンから画像信号が入力されていないとき
 - ・本製品が対応していない画像信号が入力されているとき
 - ・サスペンドモードになっているときサスペンドモードは、キーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

- 感電防止および電磁界輻射低減のため、ACコードに付いているアース線は必ず接地してください。
 - ・アース線は電源プラグをつなぐ前に接地し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
 - ・また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

前面にあるoボタンを押し、本製品の電源をONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。
以上で接続は完了です。

メモ 支柱・台座の取り外し

本製品を箱に入れるときなど、支柱・台座を取り外す必要がある場合は、止め具を強く押し、支柱・台座を取り外してください。

- ① 台座を裏返して、中央のフックに指をかけて上下一緒に内側につまみながら、台座を取り外します。
- ② 接続部分は、この穴に細い棒などを入れて、下に押し込んで内部の止め具を外して、ゆっくりと手前に引き出します。
- ③ 接続部分の取り外しは完了です。

- ・本製品を机などの安定した台の上に置いて作業してください。
- ・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。
- ・支柱・台座の取り外しは、必要な場合(購入時の箱に入れて輸送する場合など)のみ行ってください。

右上へつづく

(1)

次ページへつづく

(4)

設定ボタンについて

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンには次のような機能が割り当てられています。

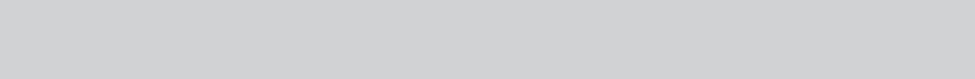
AUTO 	- 	 +	 MENU	 
シンボル	機能			
AUTO	・OSDメニュー画面を閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、自動調整を実行します(デジタルRGB入力端子(DVI)にディスプレイを接続したときは実行できません)。			
－	・OSDメニュー画面でカーソルを上方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値下落)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整メニューが開きます。			
＋	・OSDメニュー画面でカーソルを下方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値上昇)を行います。 ・OSDメニューが開いていないとき、音量の調整メニューが開きます。			
MENU	・OSDメニューを開きます。 ・OSDサブメニューを開きます。 ・選択した項目を決定します。			
	電源のON/OFFを行います。			

※詳細な設定ができるOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューについて詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。

画面で見るマニュアルの読み方「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」



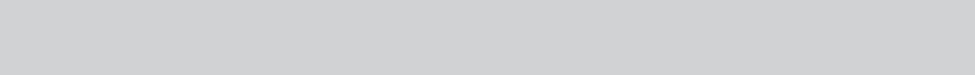
画面で見るマニュアル「液晶ディスプレイユーザーズマニュアル」は、弊社ホームページ(buffalo.jp)にて公開しております。画面で見るマニュアルでは、OSDの操作方法やトラブルシューティングなど、本紙に記載されていない情報が記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。



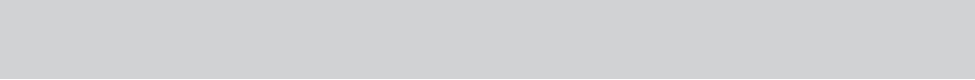
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ラジオやテレビジョン受信機(以下、テレビ)などの画面に発生するチャタツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われるしたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることで、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

- ・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
- ・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる



本製品の規格に関して
弊社は、国際エネルギープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- BUFFALOTMは、株式会社メルコホールディングスの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、「®」、「®」などのマークは記載していません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お問い合わせになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万が一一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - ・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するとき、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
- 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際しては、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データが消失・破滅に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に附れた保証があった場合、無償にて当該瑕疵を修繕し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任せません。






画面の調整について

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンでOSDを表示し、下記の項目の画面の調整を行うことができます。

※OSD機能について
OSDとはオンスクリーン ディスプレイの略称です。ディスプレイ表示に関する設定項目の選択やその調整の度合いを、実際にディスプレイ上に表示させて確認しながら調整するための機能です。画面の表示サイズや表示位置、明るさ、コントラストなどを設定できます。

※OSDの操作について詳しくは、画面で見るマニュアルを参照してください。

OSDメニューでは、次の設定をすることができます。

項目	内容	設定範囲
 明るさ	コントラスト、輝度などを調整します。	
コントラスト	画面の濃淡を調整します。	0～100
輝度	画面の明るさを調整します。	0～100
表示モード	表示モードを標準、文字(*1)、インターネット(*1)、ゲーム(*1)、映画(*1)、ECO(*1)から選択します。	標準/文字/ インターネット/ ゲーム/映画/ ECO
ガンマ	ガンマの設定します。	ガンマ1/ガン マ2/ガンマ3
DCR	ダイナミックコントラスト機能の設定します(*2)。	On/Off
 画面調整	クロック、フェーズ、位置を調整します(*3)。	
クロック	画面に縦の縞模様(モアレ)が出る場合に調整します。	0～100
フェーズ	画面にノイズが出る場合や、文字などの輪郭がぼやける場合に調整します。	0～100
水平位置	画面の位置を調整します。	0～100
垂直位置		
 色温度	色温度、RGBの調整をします(*4)。	
色温度	画像の白色部分が赤味を帯びていたり、青味を帯びているときに調整します。印刷時やフォトレタッチ時など用途にあわせて調整してください。	USER/6500K/ 7300K/9300K/ sRGB(*7)
赤	赤色の濃淡を調整します。	0～100(*5)
緑	緑色の濃淡を調整します。	
青	青色の濃淡を調整します。	
 OSD設定	OSD設定メニューの位置、表示時間、言語を設定します。	
OSD水平位置	OSD設定メニューの表示位置を調整します。	0～100
OSD垂直位置	OSD設定メニューの表示位置を調整します。	0～100
OSDタイムアウト	OSD設定メニューの表示時間を調整します。	5～100
OSD言語	OSD設定メニューの表示言語を選択します。	日本語/English
 その他	その他の設定をします。	
画面サイズ	画面全体に拡大する「フル」と縦横比率を変えずに拡大する「アスペクト比固定」を設定できます。	フル/ アスペクト比固定
入力切替	入力信号を切り替えます。	アナログ/ デジタル
自動調整	画面のノイズ、クロック、画面位置を自動調整します(*6)。	Yes/No
DDC/CI	DDC/CIの有効/無効を選択します。	Yes/No
リセット	OSD設定を出荷時設定に戻します。	Yes/No
Information	現在の設定の情報を表示します。	—


- *1 これらの表示モードでは、輝度、コントラストの変更はできません。
- *2 DCRをOnにすると、コントラスト、輝度、ガンマの変更はできません。表示モードは「標準」に戻ります。色温度は、6500Kに固定されます。
- *3 アナログRGB入力端子(ミニD-sub15)で接続したときに、自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で設定してください。設定値は、使用する解像度や、ディスプレイの周波数、パネルによって異なります。デジタルRGB入力端子(DVI)に接続したときは、本項目は調整できません。
- *4 色温度を設定すると、DCRはOffとなり、表示モードは「標準」に戻ります。
- *5 「色温度」の設定値を「USER」にした場合に有効になります。
- *6 デジタルRGB入力端子(DVI)に接続したときは、本項目は実行できません。
- *7 sRGBを設定した場合、コントラスト、輝度、表示モードの変更はできません。

■ECOモードの設定

OSDメニューから[明るさ]-[表示モード]-[ECO]を選択すれば、消費電力を抑えECOモードに設定することができます。

■OSDロックの設定

誤ってOSDボタンを操作しても機能しないように、OSDメニュー画面にロックをかけることができます。

ロック手順 本体の電源がOFFの状態で、MENUボタンを押しながら ボタンを押して電源をONにします。MENUボタンはOSDの画面が表示されるまで押し続けてください。OSDの画面が表示されたらMENUボタンから手をはなします。

ロック解除手順 上記と同じ手順でロックの解除を行うことができます。

※OSDロックを設定した状態でも、以下の操作を行うことができます。

- ・－または＋ボタンを押して音量調整をする。
- ・AUTOボタンで自動調整を実行する。

■自動調整のしかた

初めて本製品をパソコンに接続したときなど、自動的に最適な表示が得られるよう調整を行います。ときは、次のように行ってください。

※MS-DOSプロンプトなど単色部分が多い画面やアプリケーション画面などを表示した状態で自動調整を行っても、十分な効果が得られないことがあります。Windows[3]を除く)をご使用の方は、LCDADJ.EXEを実行し、画面調整用の画像を表示してから自動調整を行うことをおすすめします。Windows3.1を使用している方は、1ドットずつの黒白黒松模様など調整に適した画像を作成し、表示されることをおすすめします。

- 周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにします。
- 弊社ホームページ(buffalo.jp)のダウンロードサービスからLCD Utility Diskをダウンロードし、解凍したファイルからLCDADJ.EXEをダブルクリックしてください。

- AUTOボタンを押します。

画像(画面いっぱいにはグレーの色が表示されたように見えます)が表示されます。

- AUTOボタンを押します。

※Macintoshの場合はOSが起動し、画面表示が静止したらAUTOボタンを押してください。

※調整には数秒かかります。その間は設定メニューの操作はできません。自動調整を行っても満足のいく表示が得られなかった場合にだけ、手動で調整してください。

困ったときは

■画面に何も表示されない、画面の正常に表示されない

本紙「製品仕様」対応表示モードの解像度や垂直周波数(リフレッシュレート)以外の設定では正しく表示されないことがあります。そのようなときは、次の手順で設定を変更してください。

- パソコンの電源スイッチをONにし、Windowsロゴが表示される前に、キーボードの[F8]キーを何回か押します(キーを押したままにしないでください)。
- Windows Vistaをお使いの方は、[低解像度ビデオ(640×480)を有効にする]を選択し、[Enter]を押します。Windows XP/2000をお使いの方は、[VGAモードを有効にする]を選択し、[Enter]キーを押します。
- デスクトップ画面を右クリックし、[プロパティ](Windows Vistaでは[個人設定])をクリックします。[画面のプロパティ]が起動します。
- [設定]をクリックします(Windows Vistaでは[画面の設定]を選択)。
- 本紙「製品仕様」対応表示モードにある解像度を設定します。
- [適用]→[OK]をクリックします。
- Windosを再起動します。

■画面がにじむ、または画面がちらつく

液晶ディスプレイ前面の[AUTO]ボタンを押して自動調整を行ってください。自動調整でも改善しないときは、次の手順をお試しください。

- ・Windows Vistaをお使いの方は、[個人設定]→[画面の設定]→[詳細設定]→[モニター]→[画面のリフレッシュレート]で垂直周波数(リフレッシュレート)を60Hzまたは75Hzにしてください。
- Windows XP/2000をお使いの方は、[画面のプロパティ]→[設定]→[詳細設定]→[モニター]→[画面のリフレッシュレート]で垂直周波数(リフレッシュレート)を60Hzまたは75Hzにしてください。

■画面がぼける、画面が縦長に表示される

設定されている解像度が本製品に適していない可能性があります。パソコンの解像度を本製品の最大解像度に設定してください(本紙「製品仕様」参照)。

■液晶ディスプレイ内蔵スピーカーから音が出ない

- ・液晶ディスプレイとパソコンがオーディオケーブルで接続されているかご確認ください。
- ・液晶ディスプレイ前面のボタンで音量を調整してください。それでも音が出ないときは、パソコン本体側の音量を上げてください。
- ・パソコン側の設定で消音(ミュート)にしていないかご確認ください。

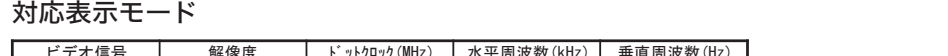
製品仕様

FTD-W935HSシリーズ		
パネル	18.5型WideカラーTFT液晶	
最大解像度	WXGAサイズ (1366×768ドット)	
最大色数	1677万色(擬似フルカラー)	
平均輝度	300cd/m ²	
平均コントラスト比	1000 : 1	
平均視野角度	上下160° 左右170°	
入力信号	VGA	アナログRGB(0.7Vp-p/75Ω)、デジタルRGB DVI準拠(HDCP対応)セバート同期信号(TTL)
	音声	1.0[Vrms]
端子	信号入力	ミニ D-sub 15ピンコネクタ・DVI-D24ピンコネクタ (HDCP 対応)
	音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック
DDC	DDC 2B	
電源	100V AC±10% 50/60Hz	
最大消費電力	32W (オフモード時：1W以下)	
スピーカー	アクティブスピーカー内蔵 1.0W×2	
外形寸法 / 重量	444(W)×334(H)×161(D) mm / 3.5kg	
VESAマウントインターフェース	VESA100mm	
動作環境	温度：10～35℃、湿度：結露無きこと	

※HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)とは、デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

※ミニD-sub15ピン(3列)アナログRGBコネクタ・DVI-D24ピンデジタルRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。



WXGA	1366 × 768	85.9	47.7	60
XGA	1024 × 768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.4	57.7	72
		78.8	60.0	75
SVGA	800 × 600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
VGA	640 × 480	25.2	31.5	60
		31.5	37.9	72
		31.5	37.5	75
IBM MODES DOS	720 × 400	28.3	31.5	70
	640 × 350	25.2	31.5	70
	640 × 400	25.2	31.5	70
MAC MODES VGA	640 × 480	30.2	35.0	67
MAC MODES SVGA	832 × 624	57.3	49.7	75
MAC MODES XGA	1024 × 768	80.0	60.2	75

※1366×768ドット/60Hzでの使用をおすすめします。

※上記以外の信号でも表示できることがあります。

※上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。

※MacintoshではミニD-sub15ピンコネクタまたはDVI-D24ピンコネクタを搭載している必要があります。

＊弊社では、本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了後5年間保有しています(弊社品質基準に適合した相当部品を含む)。保有期間が過ぎても故障箇所によっては修理可能なことがあります。詳しくはバックアップセンターまでご相談ください。

<p>使用済み液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて</p> <p>2003年10月1日施行の「資源有効利用促進法」に基づき、弊社ではご家庭で不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・再資源化を実施しております。</p> <p>詳しくは、弊社サポート＆サービスホームページ 86886.jp を参照ください。</p>

